

“新・唐獅子株式会社”公開記念
「文芸映画を撮らない事が私のプライドだ」

前田陽一映画祭

Vol. 1

香山美子・中村晃子・岩下志麻 / 3人の美女

⇒1/15(金)16(土)17(日)

「にっぽんばらだいす」(1964・松竹)

香山美子 / 木牛徳田 / 加賀まり子 / 長門裕之 / 菅原文太

* わずか30歳での記念すべき処女作。ある遊廓の女たち
の移ろいを一編の戦後史クオニクルに見立てた大作。

⇒1/21(木)22(金)23(土)

「七つの顔の女」(1969・松竹) 岩下志麻 / 緒方肇 / 有島一郎 / ザ・リガニーズ

* エリガンスでポップなおしゃれな泥鰌OSIMAの怪盗七変化。これぞ和製“黄金の七人”が。

⇒1/18(日)19(月)20(火)

「ちんころ海女っこ」(1965・松竹)

中村晃子 / 木牛徳田 / 香川ますみ / 左ト全

* cutie AKICO の10代の裸身がまぶしい。市川崑や、
ゴダールのパロディを盛り込んだ幻の珍品。

Vol. 2

マチャアキ・なべおさみ / ナベプロの黄金時代

⇒1/24(日)25(月)26(火)

「喜劇・右むけ左！」(1970・東宝)

堺正章 / 犬塚弘 / いかりや長介 / 井上順之 / 吉沢京子

* マチャアキ、自衛隊へ入隊？習志野駐屯地に繰り

広げられる埋蔵金騒動。ラストのオチに大笑い。

⇒1/27(木)28(金)29(土)

「喜劇・昨日の敵は今日の敵」(1970・東宝)

堺正章 / なべおさみ / 平田昭彦 / 紀比呂子 / 布施明

* マチャアキ、大学のバイトで、ホテルのバンドマンへ。“まぼろしの市街戦”

“三島自決”のパロディ、筋線独立と、コテコテの前田映画です。

⇒1/30(土)31(日)2/1(月)

「起きて転んでまた起きて」(1971・東宝)

堺正章 / なべおさみ / 小松政美 / いかりや長介

* マチャアキ、下町浅草のカララ屋の若旦那に、趣味はボウリング、

ライバルのなべおさみの太鼓持ち珍入りは必観。

Vol. 3

フランキー&財津 / 焼跡派の挽歌

⇒2/2(水)3(木)4(金)

「喜劇・あゝ軍歌」(1970・松竹)

フランキー一朗 / 財津一郎 / 信償美津子 / 大村直

* 御魂神社の賽銭を奪え！アナーキーな反骨精神と笑ひ

が幸運な出会いを生んだ前田陽一の最高傑作。

⇒2/5(日)6(月)7(火)

「喜劇・命のお値段」(1971・松竹)

フランキー一朗 / 財津一郎 / 岡田茉莉子 / 我原健一

* 二世医者、二世煙、二世教官と、相変らず、前田流のアンチ

本物思考の正義感がブラックな笑いで描かれる。

⇒2/8(月)9(火)10(水)

「喜劇・男の子守歌」(1972・松竹)

フランキー一朗 / 財津一郎 / 信償美津子 / 生田明子

* “東京ブキウキ” “星の流れに” とが終戦直後

の旅行歌を効果的に使った、闇市ラブソング。

Vol. 4

スラップスティック
& 歌謡ミュージカル

⇒2/11(木)12(金)13(土)「スチャラカ社員」

(1966・松竹) ミヤコ蝶々 / 長門勇 / 藤岡弘 / 碧路いとし・こいし

* “ビートルズもオリンピックも来ない大阪は差別されている”と、

スチャラカ社員が大反独立運動！まさに狂気と笑いの隠れた傑作。

⇒2/14(日)15(月)16(火)

「進め！ジャガーズ・敵前上陸」(1968・松竹)

ジャガーズ / 中村晃子 / てんぷくトリオ / 青山ミチ / 泉アキ

* 脚本の中原昌彦(小林信彦)とのコラボレーションも楽しい、

伝説のスパイ・コメディ。サイケな色彩感覚も超シブだ。

⇒2/17(木)18(金)19(土)

「虹をわたって」(1972・松竹)

天地真理 / なべおさみ / 岸辺シロー

沢田研二 / 有島一郎

* 前田監督の御当地横浜を舞台に

した青春アイドル・ミュージカル。

鳩のいない“愛と希望の街”

とも云われる傑作。

graphic&illustration
nyu-kazbow
(chuminal・manufacture)
© funtime inc. © wpi.com

1999年1月15日(金)よりレイトショー
連日夜 9:20 ~ 1,200円均一<前売1,000円>
引き続き“新・唐獅子株式会社”2月20日(土)よりロードショー

中野武蔵野ホール

JR中野駅北口サンモール街
03-3389-3301